

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【算数科】

1. 対象 聴覚障害 小学部4年生 4人

数的な理解や、集中力に個人差が大きく、3年下の内容を学習している。話すことは好きだが、話の論点がずれてしまうことや、話したいことがまとまらなかったり、手指手段がはっきりしなかったりするために聞き手に伝わりきれないことがあり、対話活動の難しさが見られる。

2. 単元名「小数」（全14時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	端数部分の大きさを表す数として、小数の意味と表し方を理解するとともに、少数の加法、減法の意味を理解し、小数の大きさを比べたり計算したりすることができる。
思考力、判断力、表現力等	数のまとまりに着目し、小数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えるとともに、小数を日常生活に生かしている。
学びに向かう力、人間性等	日常生活で見られる小数に興味をもち、学習内容を振り返ることで、生活や学習に活用しようとしている。

4. 本時の目標

- ・繰り上がりのある小数の加法の計算の仕方を理解する。

5. 授業展開【**本時**】・単元】 ※本時または単元いずれかに○を付けてください。

<b>解決したい課題や問い</b>
運動場を一周したときのタイムは、〇〇先生と4人の合計とどちらが速いか比べよう。

<b>考えるための材料</b>		
・前時に考えた、繰り上がりのないたし算の方法が書かれた掲示物。	・運動場を4分の1周したときのタイム。（小数第一位まで） ・位取り表	・ノート ・ホワイトボード
<b>想定される活動</b>		
・前時の計算方法を言語化し、確認する。	・計算の仕方を友達と相談し合い、全員の合計タイムを求める。 ・位取り表に図をかいて求める。	・他のペアに説明するために説明を記入する。ペアで、伝わる文章になっているか確認し合う。 ・下書きにホワイトボードを使用する。

<b>対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）</b>
<p>学習の流れ</p> <p>【全体での思考】5分 前時の学習を振り返り、位ごとに分けて計算する方法を、図を見て確認し、言語化して整理する。 「小数のたし算も、位ごとにわけて計算できる。」</p> <p>【ペア活動】20分 ペアの友だちとのタイムの合計を出す方法を考える活動を行う。位に気をつけて計算することを事前に押さえ、繰り上がりに気をつけて計算する。考え方がまとまったら、ノートに繰り上がりの計算の仕方を記入していく。その際、他のペアに伝わる文や表現になっているか確認し合うように促す。 「位ごとに計算しよう。」「小数第一位が10以上になったよ。」「0.1が10こで1になるから、一の位に繰り上げよう。」「残りは小数第一位にそのまま残そう。」「位取り表に図をかいて説明したら伝わるかな。」</p> <p>【全体での思考】10分</p>

ペアごとに計算の仕方をノートに記入し、写真に撮ってテレビ画面に拡大して発表する。

「やっぱり位ごとに計算するとできた。」「小数でも繰り上がりの計算ができた。」

【個人での思考】10分

- ・二つのペアのタイムを足し、合計を求める。
- ・〇〇先生とくらべてどちらが速かったか確認する。

#### 学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

二つのペアのタイムを正しく計算し、大小を比較することができた。

「〇〇先生の方が速かった。」「子どもの方が速かった。」